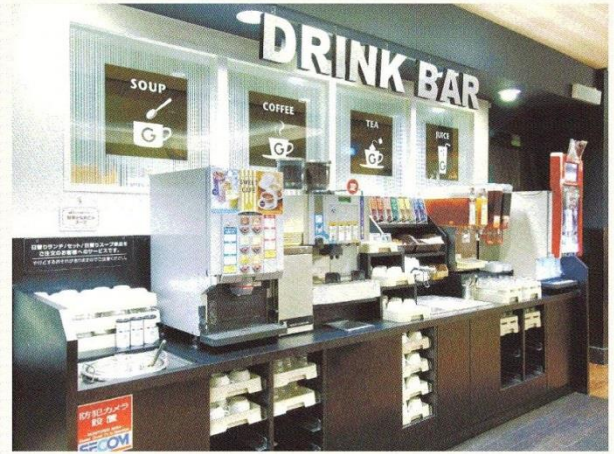




「プラ削減、日本企業の取り組み 2」

すかいらーくホールディングスが運営するファミレス「ガスト」のドリンクバー。同社は2020年までにプラスチック製ストローの利用をやめる（同社提供）



◎記事から読み取ろう

○すかいらーくホールディングスの取り組みをまとめよう。

- プラ製使い捨てストローを廃止する店舗数は、

国内外約 店舗

- 現在使われている使い捨てプラ製ストローは

年間 本

うち「ガスト」では 本

プラ製ストロー廃止へ

すかいらーく、外食大手初

ファミリーレストラン「ガスト」や「ジョナサン」を運営するすかいらーくホールディングスが、2020年までに国内外の約3200店舗でプラスチック製の使い捨てストローの利用をやめることが16日、分かった。日本国内の外食大手では初めだという。他の企業に

プラスチック製品から発生するごみなどの拡大で、使い捨て製品の増加し、海に流出している。海に流出したプラスチックが問題視されている。飲み込んだり魚などの体内に蓄積して悪影響を及ぼすほか、食品を介して人体に入り、健康被害がある。

も広がる可能性がある。プラスチックごみによる海洋汚染が深刻化しており、環境保護の取り組みを強化する。年内に日本のガスト約1370店で、客が自由に飲み物を取れるドリンクバーのストローを廃止し、20年までに日本、台湾の全店舗で使用を取りやめる。ドリンクバーではグラスだけの提供になる。

幼児や障害者などストローが必要な来店客や、「ジョナサン」のタピオカを使ったメニューでは提供するが、プラスチック製ではなく代替品を検討している。すかいらーくでは年間約1億500万本、うち「ガスト」では6千万本のプラスチック製ストローを使っている。現在は使用後、地域の分別方法にのっとりて処理している。

（佐賀新聞 2018.8.17 付）

◎広げよう・深めよう

○日本でもこのように企業の取り組みがはじまりました。

私たちの日常生活での使い捨てプラスチック製品の使用状況を考えてみよう。

◎自分の考えをまとめよう

* 友だちと意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○身近な生活の中で使い捨てプラスチック製品を使わない取り組みでどんなことが実行可能か考えてみよう。